

日時 令和2年8月26日(水) 午後2時～
場所 愛南町役場 第1会議室

第2回愛南町防災休憩施設計画検討会議事要旨

○議事

- 議題1 防災休憩施設の検討結果について
- 議題2 防災休憩施設の候補地の決定について

委員などからの意見と検討結果については次のとおり

防災休憩施設の検討結果について

○第1回の検討会で出された意見に基づき、防災休憩施設の基本方針や条件を次のとおり整理。

- ・基本方針として、津波浸水時に国道56号の分断距離が長いなど、防災機能の強化が喫緊の課題となっている御荘地区において、防災休憩施設の整備を検討。
 - 条件① 広さは10,000㎡以上を目安。
 - 条件② 津波の高さを考慮し、計画標高を15m以上で検討。

- ・考慮事項としている「松軒山公園との連携に重点を置き、園路の活用を検討」について、公園管理者の愛媛県は、「最終的に整備局との協議は必要だが、公園利用者への配慮がなされていれば概ね問題ない」との見解。

○基本方針、条件を満たす2案を提示し、次のとおり説明。

- ・防災休憩施設の候補地として、高さが異なるA案（標高約30m）とB案（標高約15m）を提示。面積はどちらも約11,000㎡となる。

- ・ A 案のコンセプトとしては、支障物件等周辺地域への影響を考慮し、施設を極力高台へ設置する。
- ・ B 案のコンセプトとしては、津波一時避難場所になることを想定し、十分な高さを確保しつつ国道からのアクセスが近く、日常の利便性が良いこと。
- ・ A、B 両案について、日常利用・災害時利用・津波一時避難・土地利用・安全性・施工性・景観・防災休憩施設とアクセス路整備等の観点を比較。
- ・ A 案は、支障物件が無く、工事中住宅地から遠く、景観も良い。
- ・ B 案は、国道から近くに位置し、アクセスがしやすく、勾配のある区間が短いため走行安全性が優位。

【 委員からの意見 】

- ・園路をアクセス道路として活用できるかについて、第 1 回検討会の後、再度、四国地方整備局に問い合わせたところ、「公園利用者に支障がないよう十分配慮すれば、園路の活用は可能」との見解。そのため公園利用者に配慮した設計をお願いしたい。また、最終的には、計画図面等を確認しながら、公園管理者として判断させていただきたい。

防災休憩施設の候補地の決定について

【 委員からの意見 】

- ・防災面について、津波一時避難場所として、町では 20m 以上と設定しているため、A 案は住民に理解を得られるのではないかと懸念される。一方、B 案は、昨年度、愛媛県が指定した「津波災害警戒区域」では、最大約 8 m が想定されているが、この辺りは標高 1 m 程度の平地で、津波の勢いも衰えにくいことが予想されるため、ここに盛土等で障害物が作られることを考慮すると、想定 8 m の津波が来た際に、その障害物を駆け上がっていくと予想される。このことから、防災休憩施設標高が約 30 m ある A 案のほうがより安全ではないかと考える。

- ・園路を活用する部分については、両案ともに縦断勾配 7%として計画している。参考としては松山自動車道「伊予インターチェンジ」の縦断勾配は約 7.5%。道路構造令の基準値以内。
- ・A 案と B 案を比較した際に、A 案は災害時の避難に時間がかかるのでは。愛南町は将来、防災休憩施設を津波一時避難場所として指定する予定か。また、避難する際の移動手段は何を想定しているのか。
- ・A 案も、現在の津波一時避難場所と同程度の避難距離であり、避難場所として問題ない。なお、防災休憩施設は将来的に津波一時避難場所として指定する予定で、基本的に、徒歩による避難を想定している。
- ・A 案が避難場所として問題ないのであれば、A 案が良い。
- ・A 案は園路活用の延長が長くなるが問題ないか。
- ・A、B のどちらの案となっても、公園利用者へ影響がないように配慮できていれば、園路の活用は問題ない。ただし、詳細設計の段階で整備局との協議が必要。
- ・委員長による採決の結果、委員全員、A 案で了承

【 委員からの意見 】

- ・高速道路のインターチェンジについては、A 案との連絡に配慮した位置とする。
- ・今回の検討会の開催結果について、住民への周知が必要だと思われるが、どのような方向で行っていけば良いか皆様に意見をお伺いしたい。
- ・第 1 回検討会を含めて、議事録や資料等を愛南町 H P や広報などで掲載することで、住民に防災休憩施設についての認識を持ってもらえるのではないだろうか。
- ・防災休憩施設の具体的な防災機能について、松軒山公園や大森山公園等との連携を踏まえて、役割分担を行っていく必要があり、第 3 回検討会の際、愛南町で案を提示願いたい。

【 事務局 】

- ・第3回検討会については、11月開催予定で、議題は、平常時における利活用方法の検討と、防災休憩施設基本構想のとりまとめを予定しています。

検討結果のまとめ

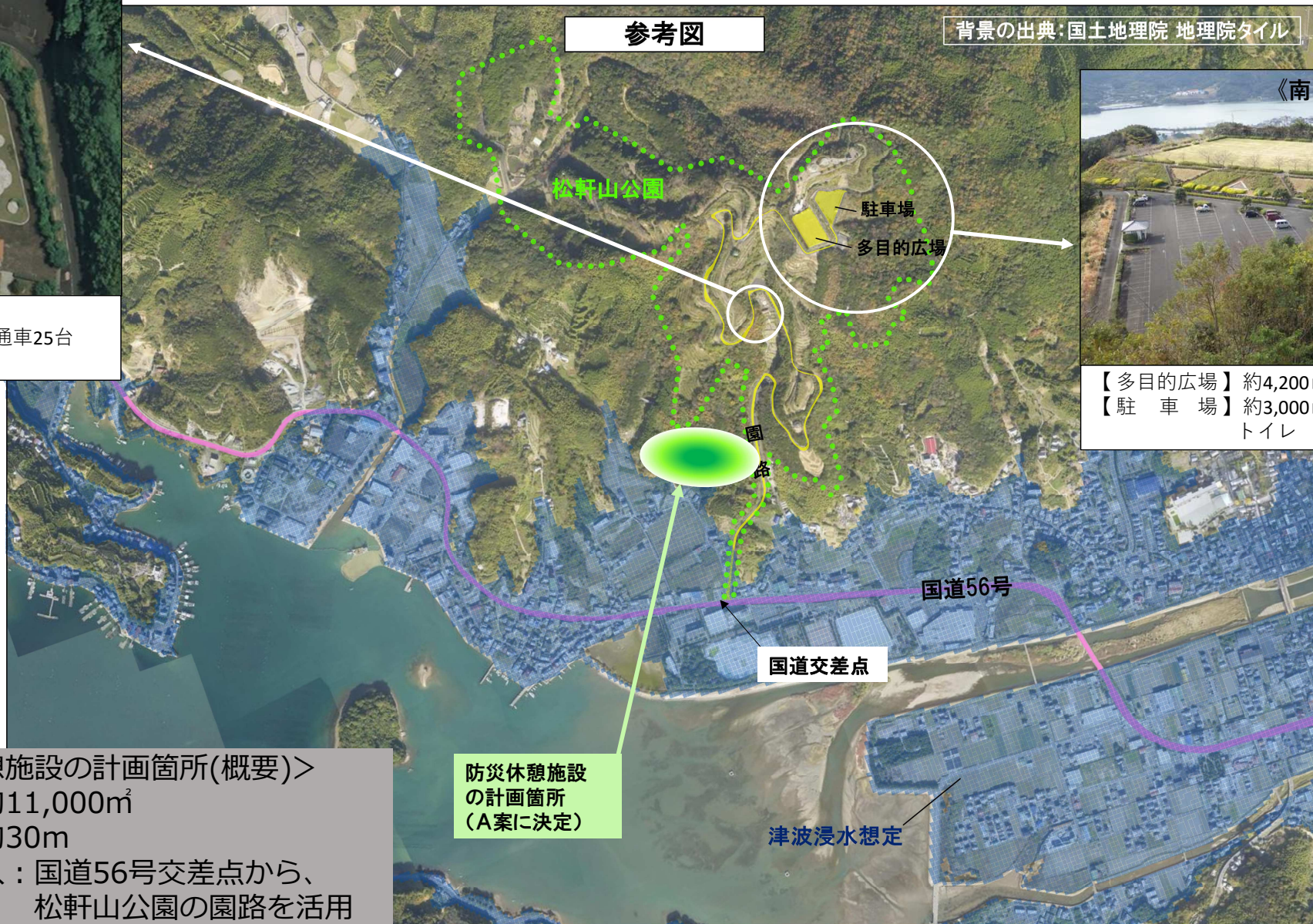
<防災休憩施設の候補地について>

- 防災休憩施設の候補地を、A案、B案について審議し、津波に対する安全性などに優れ、周辺地域への影響が少なく、インターチェンジとの連絡並びに防災拠点となる松軒山公園との連携も可能なA案で決定。
- 検討会開催結果について、愛南町HPと広報誌に掲載。

<次回検討会について>

- 第3回検討会について、平常時における利活用方法の検討及び防災休憩施設基本構想のとりまとめ等を議題とし、11月に開催予定。

決定された防災休憩施設の計画箇所と松軒山公園との位置関係



<防災休憩施設の計画箇所(概要)>

- ・面積：約11,000㎡
- ・標高：約30m
- ・アクセス：国道56号交差点から、松軒山公園の園路を活用

防災休憩施設
の計画箇所
(A案に決定)